



## ミツバチは、何かをさすと必ず死ぬって本当なの

### ミツバチだけは、さすと自分も死ぬ

ミツバチは、巣をおそわれたり、自分の身が危険と感じたときに、おしりの針で敵をさします。さすと、必ず自分も死んでしまいます。なぜかという、ミツバチの針は、針に逆さに向いたとげがついていて、さしたあと、針がぬけないようになっているのです。そのため、さした後ミツバチが飛んでにげようすると、おしりの部分がちぎれて針といっしょに敵の体に残ります。そして、ちぎれたおしりの部分にある毒を送り続ける装置がはたらき、さした相手の体内に、毒を送り続けるしくみになっています。おしりがちぎれたハチは、まもなく死んでしまいます。

### 人をさすハチは少ない

ハチの中でも、針をもっている種類は、そんなに多くありません。人をさすハチは、よく知られているものでは、ミツバチ、アシナガバチ、スズメバチぐらいです。

これらのハチでは、巣のそばに近寄りすぎたり、巣をたたいたりすると、たくさんのハチのいっせいで攻撃を受け、危険です。大きくて気があらいので有名なスズメバチなどは、とくに危険です。さされた所が何日間も痛く、一度に、何びきものハチにさされたりすると、死ぬこともあります。でも、さしたほうのスズメバチは死にません。（監修・中山 周平）

